

製薬産業界

大手企業も試練のとき

熾烈化する新薬開発競争

武田薬品、ファイザー、アステラス製薬、第一三共、ロート製薬……人材サービスのアポプラスステーションが発表した薬学生の就職したい製薬企業の上位5社だ。ニュースやCMなど知名度が大きく影響するため、人気の高い企業に大手が連なるのは当然だろう。だが、待ってほしい。日本の医薬品業界には今後、大企業といえども安穏としていられない時代がやってくる。

製薬企業の世界売上高ランキングは、①ファイザー、②グラクソ・スミスクライン、③サノフィ・アベンティス、④ノバルティス—と続く。1990年代から始まった大手企業の相次ぐ合併で、巨大化した結果だ。

こんな世界レベルの話が、日本の業界にも押し寄せてくるかもしれない。その理由の一

つは、5月の三角合併解禁。例えば外資企業が日本企業を買収する際、対価として外資企業の株式を充てることも可能になる。これは、日本企業の10倍以上の時価総額を持つ外資大手が、日本の、特に大手企業に買収を仕掛けやすくなることを意味する。

合併で大きくなったら、良いじゃないと思うかも知れない。だが合併の裏には合理化、つまり人員削減がある。ビッグビジネスには、相応の覚悟も必要というわけだ。

大手が安穏としていられないもう一つの理由は2010年問題。武田、アステラス、第一三共、エーザイの日本上位4社は、現在の業績を支える主力製品が、2010年前後に世界最大の米国市場で特許が切れる。特許が切れれば、その薬で大きな収益が見込めなくなる。その

ため後継品の開発に四苦八苦している。

加えて国内市場の低成長。特に国内市場中心の準大手、中堅は、踏ん張りどころだ。

こう言うと希望のない話ばかりに聞こえるだろうが、決してそうではない。高齢化の進展で、薬の需要は確実に高まる。治療が難しい病気に対する新薬には、大きな期待が寄せられている。特に癌は一大注目分野だ。

分子標的薬、抗体医薬など、ターゲットにピンポイントで働く薬は、世界レベルで熾烈な開発競争が繰り広げられている。日本では大手4社のほか、中外製薬、協和発酵も有名で、多数のベンチャー企業も参戦している。

後発医薬品も有望だ。国の医療費抑制策、患者の負担増に対して、新薬の半値以下で入手可能な後発品は患者ニーズとも合致する。扱いやすさなど一工夫を加えた製品も注目されている。

病気を治す薬は、患者に希望を授ける。その希望を実現させる手助けをする薬をつくり、手元へ届ける製薬会社こそ、希望のある会社だ。規模の大小、知名度だけに惑わされないでほしい。

医薬品流通業界

“毛細血管型”の流通網

健全な日本市場の護衛役

昨年9月25～27の3日間、米国サンフランシスコ市で、第16回IFPW(国際医薬品卸連盟)総会が開催され、日本からも数多くの卸企業トップが参加した。総会では、未承認薬、コピー薬、不正薬とも呼ばれる「ニセ薬」問題や、例えば米国で販売されている薬と同じものが、隣国カナダから安価で入ってくる「並行輸入薬」などの問題が、主要テーマとして取り上げられた。各国の規制当局は、これらへの対応に頭を悩ませているのが実情だ。

日本でも、一部インターネットなどで「ニセ薬」が取引されている実態もあるようだ。しかし、医療現場へ供給する通常の市場では、ほぼ100%正規の医薬品が占めている。製薬企業が国の許認可を得て製造した医薬品を、事業許可を得た正規の医薬品卸に流通を委ね

ているため、諸外国に見られるような問題が発生しない“健全な市場”となっている。

日本の医薬品卸はその特殊性、必要性から、自由経済市場の下でも現在まで生き残っている。特殊性の最たるものが、医薬品卸業界が自ら称するところの「毛細血管型流通」だ。郵便と同様、山間へき地や離島などの医療機関にも必要な医薬品を供給すると同時に、動脈と静脈の流れのように、医薬品の適正使用に向けた情報提供と、有害事象・副作用などの情報収集を行っている。

正確・迅速・安定的な供給と、品質・安全性を確保するため、製薬企業のMR(医薬情報担当者)と緊密な連携を保ちながら、医薬品卸のMS(マーケティング・スペシャリスト=販売担当者)や配

送専門員などが日夜、医療現場へ医薬品と情報を届けている。

また、医薬品卸の医薬品が保管されている物流センター、支店、営業所などの拠点には、向精神薬、麻薬などを含む医薬品を取り扱っている関係もあり、必然的に「薬剤師」を配置することが義務づけられている。

日本の医薬品市場は、現在までのところ健全な状態が保たれている。それは行政、製薬企業、医療関係者、国民・患者、そして流通を担っている卸が、医薬品の安全性に対して、諸外国とは比較にならない高い意識と倫理性を、堅持しているからにほかならない。



IFPWサンフランシスコ総会

やりたい仕事がある

信頼の技術を、医薬品へ

ニプロはより良い医薬品の研究開発に取り組んでいます

信頼の医療器・医薬品

NIPRO

ニプロ/ニプロファーマ/ニプロジェネファ

<http://www.nipro.co.jp/>